

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

体験・滞在型観光推進施設整備計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

帯広市

3 地域再生計画の区域

帯広市並びに北海道河東郡音更町、士幌町、上士幌町及び鹿追町並びに上川郡新得町及び清水町並びに河西郡芽室町、中札内村及び更別村並びに広尾郡大樹町及び広尾町並びに中川郡幕別町、池田町、豊頃町及び本別町並びに足寄郡足寄町及び陸別町並びに十勝郡浦幌町の全域

4 地域再生計画の目標

帯広市を含む十勝エリアは、雄大な自然環境やパッチワーク状に広がる農村景観、基幹産業である農業から生産されるおいしい「食」など、この地ならではの観光資源に恵まれている。

しかし、このすぐれた地域資源を十分に活用できておらず、十勝が観光の目的地となりきれていないため、通過型の観光に留まっている現状にある。とりわけ、体験・滞在型観光の拠点が管内に広く点在し、エリア内の旅行や移動が困難な状況にあるため、観光客のアクセスを支える二次交通の利便性を高めていく必要がある。

また、アウトドアを地域の新たな観光ブランドとして確立するために、地域再生計画の認定を受けた「十勝アウトドアDMO事業」によってアウトドアに特化したDMOを設立する予定であるが、アウトドアDMOが収益事業を展開し、十勝観光の魅力を効果的にプロモートしていくための拠点が無いのが現状である。

こうした課題に対して、地域観光の受け入れ窓口となる施設の整備を実施し、十勝の自然空間を最大限活用した、ゆとりや癒しなどを満喫できる特別な時間や新しいライフスタイルを提案していくことを通じて十勝観光のブランド化を推進し、交流人口の増加や域内消費の拡大を図ることを目的とする。

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
十勝のアウトドア観光消費額(単位:千円)	700,037	21,001	21,631	22,280

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
十勝のアウトドア観光消費額(単位:千円)	22,948	23,637	111,497

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

JR帯広駅に隣接し管内交通の結節点となっている「帯広駅バスターミナル」の立地を生かし、アウトドアをはじめとする体験・滞在型観光の拠点施設を整備し、平成29年4月設立予定の「(仮称)株式会社十勝アウトドアDMO」や地域のバス事業者等による旅行パック等の商品販売機能や、バス・キャンピングカー・レンタサイクルなどの移動手手段の提供機能等を集約することで、十勝観光のブランド化とエリア内の二次交通の利便性向上を図り、国内外から十勝への新たな「ひと」の流れを創出する。

【実施収益事業】

- (仮称)株式会社十勝アウトドアDMO
 - ・アウトドア旅行商品の受付・販売 (アウトドアメニューの受付、アウトドアツアー造成販売、ケータリングなど)
 - ・アウトドアグッズのレンタル・販売 (キャンプ用品、ウェアなど)
 - ・キャンピングカーのレンタル
- バス事業者・十勝圏二次交通活性化推進協議会など
 - ・二次交通との旅行パック、観光定期バス、都市間バス、路線バス乗車券の販売
 - ・レンタサイクル、サイクル旅行商品の販売 (ロード、クロス、マウンテン、電動など)

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生拠点整備交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体：帯広市

② 事業の名称：体験・滞在型観光推進施設整備事業

③ 事業の内容：

JR帯広駅に隣接し管内交通の結節点となっている「帯広駅バスターミナル」の立地を生かし、アウトドアをはじめとする体験・滞在型観光の拠点施設を整備し、平成29年4月設立予定の「(仮称)株式会社十勝アウトドアDMO」や地域のバス事業者等による旅行パック等の商品販売機能や、バス・キャンピングカー・レンタサイクルなどの移動手段の提供機能等を集約することで、十勝観光のブランド化とエリア内の二次交通の利便性向上を図り、国内外から十勝への新たな「ひと」の流れを創出する。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】： 設立を進めているアウトドアDMOやバス事業者の体験観光メニューや移動手段を提供することで、自主財源となる収益を広く確保し、自立した施設運営を行う。

【官民協働】： 行政は民間からの資金協力を得ながら拠点となる施設を建設し、施設の運営に必要となる備品類は施設を活用する民間事業者の負担により手配する。施設の供用開始後はアウトドアDMOの中核を担うアウトドアメーカーのノウハウやそのユーザーネットワークを活用しながら収益事業による自主財源を確保し管理運営を行う。

【政策間連携】： 観光客による公共交通利用の促進が図られることで、バス交通の持続性の向上に資することが期待される。また、飲食・宿泊事業者等との連携により、中心市街地への人の流れが作られ、まちなかのにぎわい創出の一助となる。

【地域間連携】： 施設整備の予定地は管内の広域バス交通の結節点となっており、管内に点在する様々な観光拠点へのアクセス

が可能であることから、帯広市だけではなく管内町村の観光振興に資することが期待できる。

⑤ 重要業績評価指標(KPI)及び目標年月

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
十勝のアウトドア観光消費額(単位:千円)	700,037	21,001	21,631	22,280

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
十勝のアウトドア観光消費額(単位:千円)	22,948	23,637	111,497

⑥ 評価の方法、時期及び体制

産学官金労言と地域住民により構成した外部組織において、翌年8月頃に進捗状況や目標達成状況について報告し、検証・改善のための議論を行う。

⑦ 交付対象事業に要する経費

①第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 156,897千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日(5ヵ年度)

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 二次交通の充足と活性化のための事業

事業概要: 十勝に点在する観光施設を公共交通でめぐる旅のプランを十勝管内のバス事業者とタクシー事業者が共同して開発、販売を行い、二次交通の充足と利用者

の利便性の向上を図るもの。

実施主体：十勝圏二次交通活性化推進協議会

事業期間：平成 28 年度～平成 32 年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成33年 3 月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

産学官金労言と地域住民により構成した外部組織において、毎年度末に進捗状況や目標達成状況について報告し、検証・改善のための議論を行う。

目標 1

アウトドア観光消費額については、十勝の観光消費額に十勝の入込観光客数に占めるアウトドア利用者の比率を乗じて算出する。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
十勝のアウトドア観光 消費額 (単位: 千円)	700,037	21,001	21,631	22,280

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
十勝のアウトドア観光 消費額 (単位: 千円)	22,948	23,637	111,497

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

帯広市のホームページにより公表する。